

事業番号	10 05 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室		
		実施期間	S33 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑥様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 希少鳥獣等保護が必要な鳥獣が存在する一方、野生鳥獣による農林業等への被害はここ10年程減少傾向にあるが、依然として深刻な状態である。(R2年度 農林業被害額:7億4千2百万円)
	【目指す姿】 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。
	【実施内容】 ・野生鳥獣総合管理(生息調査、計画策定、捕獲支援) ・狩猟の適正化(狩猟免許、登録) など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	農林業被害額	千円	739,890	741,891	↓	730,637	↑	667,750	未達成
2									
3									
4									
5									

事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	347,558	506,833	413,475
	補正予算額	60,113	-127,192	-53,680
	合計(A)	407,671	379,641	359,795
	うち一般財源	134,331	125,897	84,188
	決算額(B)	363,310	358,660	301,329
職員数(人)	7.0	7.0	7.0	

成果指標 及び目標値 の設定理由	1.過去の被害減少率を参考に前年度マイナス5%を設定
達成状況 の分析	1.防護柵の設置や捕獲の推進等により、農業被害額がマイナス4.0%と減少した一方、林業被害額はプラス3.6%と増加したが、全体では対前年比マイナス1.5%の減少となった。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣の生息域と集落を区分する緩衝帯や移動経路となる河川周辺の整備 ・防護柵の設置や追い払い等、地域の実態に応じた被害防除対策の支援 	 <p>防除対策の現地指導</p>  <p>ハンター養成学校</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 捕獲技術等を有する技術者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・高度な捕獲技術を有する者の育成のため、公募により対象者4名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施 ・狩猟や有害鳥獣捕獲に携わる人材を増やすため、ハンター養成学校を開校し、必要な知識、技術講習を受講 	
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特定鳥獣保護管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ツキノワグマに関する生息状況調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において第二種特定鳥獣管理計画(ツキノワグマ保護管理)の策定について検討 ・次期計画策定の基礎資料とするためのイノシシ生息状況調査、及びカモシカ個体群動向調査を実施 	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥類による果樹被害など防除の困難な被害が増加しつつある。 ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害防除とともに、緩衝帯整備、不要果実の除去等の効果のある生息環境の整備などの、総合的で効果的な対策を地域とともに推進。 ・シカの生息分布の変化等の調査結果や捕獲方法の改善、また、高度な捕獲技術を有する者の育成などによりシカの捕獲を推進。

事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	狩猟対策事業費	16,411 千円	25,728 千円	20,036 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	免許等事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験を、4日間、延べ17会場で実施 5,706件の狩猟者登録を実施
2	狩猟免許講習実施事業	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験時の講習会を、12日間、延べ17会場で実施 免許更新時の講習会を、37日間、延べ24会場で実施
3	県営射撃場運営事業	直接	県営射撃場のスキート射撃場A面のクレー放出機に、経年劣化による不具合が生じたため改修工事を行った 令和4年度からの指定管理者を選定する選定会議を開催した
4	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者を対象に、実技訓練講習を18日間 645人、コロナウイルス蔓延防止に配慮した講習を160人の計805人に対して実施 委託先:(一社)長野県猟友会

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	鳥獣保護管理事業費	49,581 千円	34,262 千円	37,075 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	適切な鳥獣保護管理事業を行うため、事業を補助する鳥獣保護管理員を116名、広域鳥獣保護管理員を10名任用し、10広域に配置 鳥獣保護区等の巡視、鳥獣被害の対策指導等を実施
2	鳥獣保護区等の指定管理	直接	野生鳥獣の生息環境の維持を図るため、案内板等を設置し、機能を維持 狩猟鳥獣捕獲禁止区域1箇所、鳥獣保護区5箇所、特定猟具使用禁止区域8箇所の更新を実施
3	野生鳥獣救護対策事業	直接	希少鳥獣等の保護のため、救護ボランティアの支援及び鳥獣救護用資材の配備を実施 家さん等への感染予防のため、ウイルス保有状況調査(糞便採取調査1回)を実施
		委託	希少鳥獣等の保全対策を図るため、公設・公営6動物園に傷病鳥獣の救護を委託し、併せて獣医師、救護ボランティアによる傷病鳥獣救護を実施 63件(鳥類52件、獣類11件) 委託先:小諸市、松本市、大町市、須坂市、一般社団法人長野市開発公社、株式会社Rethink、一般社団法人長野県獣医師会
4	特定鳥獣保護管理事業	直接	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会2回、専門部会(ツキノワグマ部会5回、カモシカ部会1回)を開催
		委託	野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、ツキノワグマ生息状況等調査を実施し、生息状況、被害発生状況の把握と共に、被害対策の実施状況等の解析を行った カモシカの個体数調整による捕獲個体のサンプル収集と解析を実施

事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	野生鳥獣総合管理対策事業費	211,128 千円	238,797 千円	232,320 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策を講じるための経費に対する支援を実施
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証調査を実施
3	野生鳥獣保護管理体制整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつ持続的にシカを捕獲する技術を有する捕獲技術者の育成のため、公募により育成対象者4名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施 クマ対策員10名による人身被害対策等への支援を実施 捕獲活動への参加推進のため、狩猟に関心はあるが実際に狩猟を行うに至らない者等を対象に、地元猟師とのマッチングや実践的な研修を実施 捕獲個体等のサンプル調査による生息数の増減や生息状況の把握、次期保護管理計画策定のためのデータ収集を実施
4	持続型捕獲モデル実証事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 赤外線ドローン等を活用して生息状況や出没状況を確認した上で、効率的・効果的な捕獲対策を実施 ニホンジカの捕獲を促進するため、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体の活用に向けた取り組みに対する支援を実施

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	豚熱対策事業	86,190 千円	59,873 千円	11,898 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	野生いのししの生息環境対策を主軸とした総合的な獣害対策	直接委託	「生息環境対策(緩衝帯整備)」を主軸として、「捕獲」、「侵入防止対策」、「モニタリングによる見える化」の4つを組み合わせ、地域ぐるみで進めるイノシシ対策を実施
2			
3			